# 流れ藻モニタ操作方法

Ver.1:2021/01/05 Ver.2:2021/01/22 Ver.3:2021/02/17 Ver.4:2022/01/06



- 流れ藻モニタ操作方法 目次
- ▶ 操作方法 概要
- ▶ 流れ藻モニタ Viewer 操作方法
- ▶ 流れ藻モニタ Viewer URLによる表示設定
- ▶ 流れ藻モニタ List 操作方法
- ▶ 流れ藻モニタ Calendar 操作方法
- ≻別紙
  - ✓ <u>流れ藻モニタエリア情報</u>
  - ✓ <u>流れ藻モニタ物理量情報</u>
  - ✓ カラーレンジ設定による流れ藻の見え方
  - ✓ <u>提供ファイルについて</u>



### 流れ藻モニタ操作方法 概要

流れ藻モニタは気候変動観測衛星「しきさい」(GCOM-C)搭載光学センサ「多波長光学放射計」(SGLI)で観測された日本周辺域における流れ藻指数(FAI:Floating Algae Index)と大気上端輝度の3バンド合成画像(RGB)を公開しています。

当資料では、流れ藻モニタ(1. Viewer、2. List、3. Calendar)の操作方法を記載しております。

#### ■Webページ概要

- 1. Viewer : 日ごとに詳細表示(マップの拡大表示・位置移動等の操作が可能)
- 2. <u>List</u>: :月ごとに画像を一覧表示。(観測状況の確認用)
- 3. Calendar: 拡大画像表示。地域ごとに1ヶ月分の画像を一覧表示。

■操作手順:赤枠に①からの連番で示しております。
※複数の方法がある場合は、①-1、①-2のように記載

■その他:緑枠にページを見る際に必要な情報を記載しております。



### 流れ藻モニタ Viewer 操作方法①





### 流れ藻モニタ Viewer 操作方法②











流れ藻モニタ Viewer 操作方法④



#### CARA CCOM-CC Correctioner Character Correctioner Correctioner Character Correctioner Charac

### 流れ藻モニタ Viewer 操作方法⑤



横幅1024px以下のタブレット端末・スマ ホ端末の場合、マップ表示は1画面のみ となります。 その他機能はPC版と同様です。



### 流れ藻モニタ Viewer URLによる表示設定

#### URLによる日付・表示領域・物理量の指定

URLによって日付、表示領域、物理量を指定することが出来ます。 頻繁に表示する領域をブックマークする等ご活用ください。

<u>例1)日付(date)、緯度(lat)、経度(lon)、ズームレベル(zoom)の指定</u> https://www.eorc.jaxa.jp/JASMES/FAI/index.html?**date=20210103&lat=29&lon=129&zoo m=8** 

<u>例2) 日付(date)、エリア名(area)での指定 ※エリア名は「別紙」参照</u> https://www.eorc.jaxa.jp/JASMES/FAI/index.html?**date=20210103&area=Amami** 

<u>例3)物理量(prod1、prod2)の指定 ※物理量名は「別紙」参照</u> prod1:左側のマップの物理量 prod2:右側のマップの物理量 https://www.eorc.jaxa.jp/JASMES/FAI/index.html?**prod1**=FAI&**prod2**=CHLA







### 流れ藻モニタ Calendar 操作方法①





## 別紙 流れ藻モニタエリア情報



エリア名	List, Ca	alendar画像	Viewerの指定		備考	
	緯度範囲	経度範囲	中心緯度	中心経度	ズームレベル	
EastChinaSea	25-40	119-134	32.5	126.5	5	
EastChinaCoast	27-33	122-128	30	125	5	
EastChinaCoast2	28-38	121-124	33	122.5	4	冗長となるためListでは省略
EastChinaCoast3	32-35	121-124	33.5	122.5	6	冗長となるためListでは省略
EastChinaCoast4	32-35	121-127	33.5	124	6	
LaodongPeninsula	33-38	119-124	35.5	121.5	6	
Amami	27-31	127-131	29	129	8	
Kumage	29-31	129.5-131.5	30	130.5	8	
Kyusyu	29-34	128-133	31.5	130.5	7	Viewer <b>デフォルト値</b>
Goto	31-34	127-130	32.5	128.5	8	
Tsushima	33-36	126-131	34.5	128.5	8	
JapanCompo	20-60	115-155	40	130.5	8	
Hyuga-Nada	-	-	32.5	132.8	8	Viewer <b>用 黒潮暖流側</b>
Kagoshima	-	-	30.8	130.5	8	Viewer <b>用</b>



### 別紙 流れ藻モニタ物理量情報

物理量名	URL指定時の物理量名	備考
流れ藻	FAI	
クロロフィルa濃度	CHLA	
海面水温 Daytime	SSTD	
海面水温 Nighttime	SSTN	
エアロゾル光学的厚さ	TAUA_670	
RGB1 (VN08,VN05,VN03)	RGB1	
RGB2 (SW03,VN11,VN08)	RGB2	
Terra/MODIS 流れ藻	AFAI_T	
Aqua/MODIS 流れ藻	AFAI_A	



#### > プリセット設定 (FAI)

	color table	Color range(min)	Color range(max)	備考
プリセット1	1	-0.006	0.010	東シナ海で大規模にはっきり見える流れ藻
プリセット2	2	-0.004	0.010	プリセット2で見づらい大規模流れ藻
プリセット3	1	-0.004	0.008	日本近海で小規模で見えづらい流れ藻
プリセット4	2	-0.003	0.003	プリセット3で見づらい小規模流れ藻





#### 日付・表示領域

日付	2019/3/30
中心緯度	29.288
中心経度	123.802
ズームレベル	8

カラーバー設定

color table	1
color range(Min)	-0.006
color range(Max)	0.01

・デフォルトの値

・東シナ海で大規模にはっきり見えている 流れ藻用



#### 日付・表示領域

日付	2018/4/20
中心緯度	30.062
中心経度	126.116
ズームレベル	8

カラーバー設定

color table	2
color range(Min)	-0.004
color range(Max)	0.01

・東シナ海で大規模にはっきり見えている流 れ藻用

・color1で見えづらい場合に使用



### 日付・表示領域

日付	2019/5/11
中心緯度	31.612
中心経度	128.537
ズームレベル	7

#### カラーバー設定

color table	1
color range(Min)	-0.004
color range(Max)	0.008

・日本近海で小規模で見えづらい流れ藻用に レンジを狭めに設定



#### 日付・表示領域

日付	2019/3/27
中心緯度	31.393
中心経度	129.395
ズームレベル	8

### カラーバー設定

color table	2
color range(Min)	-0.003
color range(Max)	0.003

・日本近海で小規模で見えづらい流れ藻用 にレンジを狭めに設定

・ color1で見えづらい場合に使用

提供ファイルについて



▶ 当モニタでは、JASMES登録ユーザ向けに、データファイルを提供している。

※JASMESユーザ登録済みの場合は、再度登録する必要はありません。
※ユーザ新規登録は以下からお願いいたします。
https://www.eorc.jaxa.jp/JASMES/registration j.html

▶ 取得方法

JASMES FTPより取得可能。格納ディレクトリは以下の通り。 [ユーザ登録時メールに記載のディレクトリ]/FAI/[物理量名]/yyyy/mm/dd

▶ 対象物理量

流れ藻(FAI)、クロロフィルa濃度(CHLA)、海面水温 Daytime(SSTD)、 海面水温 Nighttime(SSTN)、エアロゾル光学的厚さ(TAUA\_670)、 RGB1 (VN08,VN05,VN03)、RGB2 (SW03,VN11,VN08) 提供ファイルについて(netCDF)

▶ 提供ファイル(netCDF)

ファイル名定義 CG1SG1\_[YYYYMMDD]D\_[PPPP]\_[xx]. JapanCompo.nc YYYYMMDD: 観測日 PPPP:プロダクト名 xx:バージョン更新(A1からカウント。再処理時にカウントアップ)

アルゴリズムは標準アルゴリズムと同様であり、 JASMES SGLI準リアルモニタで公開されているプロダクトを使用している。 https://www.eorc.jaxa.jp/cgi-bin/jasmes/sgli\_nrt/index.cgi

SGLI準リアルモニタで公開されているnetCDFを1日分(JST)でパス結合している。

各物理量はDN値で格納されており、

ファイル内に格納されたscale\_factorとadd\_offsetを用いて物理量に変換する。

物理量=DN×scale\_factor+add\_offset

提供ファイルについて(GeoTiFF)

▶ 提供ファイル(GeoTiFF)

ファイル名定義 CG1SG1\_[YYYYMMDD]D\_[PPPP]\_[xx].geotiff YYYYMMDD: 観測日 PPPP:プロダクト名 xx:バージョン更新(A1からカウント。再処理時にカウントアップ)

Viewerページのマップ表示で使用しているGeoTiFFであり、 以下の計算式で算出される物理量が格納されている。

物理量=DN(netCDF格納值)×scale\_factor+add\_offset